

2024年10月18日

## デジタルキューブ(263A)

テクノロジー活用で地方企業の成長支援。AWSパートナーとしての最上位ステージ認定の実績が強い

TOKYO PRO Market | IT サービス | 会社紹介



A member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 263A:JP | REUTERS 263A.T

- テクノロジー活用のロケーション・フリーな事業展開を実現。自社開発プロダクトを通じて地方企業の成長と地域経済の発展を支援している。
- AWSのパートナーとしてソフトウェアパス部門で最上位ステージの「DIFFERENTIATED」に認定。AWSの成長に伴って事業機会拡大を期待。
- フルリモート前提の働き方に加え、上場を機に社員へのストックオプション付与など優秀なIT人材獲得に注力。持続的成長が期待されよう。

### 同社の事業について

クラウドサービス事業の単一セグメントである同社グループにおける主なサービスは、①ホスティングサービス、②Webサイトの制作・保守サービス、③クラウドインテグレーションサービス、④ディベロップメントサービスから構成される。2024/3期売上構成比は、①33.1%、②46.4%、③9.4%、④11.1%である。同社事業の特徴・強みとして以下の点が挙げられる。

第1に、テクノロジーの活用による「ロケーション・フリー」な事業展開である。エリアの離れた地域を拠点とするヘプタゴン社の連結子会社化により成長を加速させるなど、場所・地域に左右されない事業展開を自社で実現するだけでなく、「FinanScope (ファイナンスコープ)」など自社開発プロダクトの提供により、地方企業の成長ならびに地域経済の発展を支援している。社員の働き方もフルリモートを前提としている。

第2に、AWSのパートナーとしてソフトウェアパス部門で最上位ステージの「DIFFERENTIATED」に認定される実績である。AWSは国内外でシェア首位のクラウドコンピューティングであることに加え、24年1月に「27年までに2兆円を超える日本国内へのクラウドインフラ投資計画」を発表。更なる成長を目指している。同社の国内における地位向上および事業機会の拡大も期待される。AWS利用に伴い円安局面で外貨建て支払いコスト増も想定されるが、料金引上げなどで吸収可能と見込まれる。

第3に、人材採用の優位性である。優秀なIT人材の獲得競争が激しくなる中で、同社は社員へのストックオプション付与により、上場を機に優秀な人材獲得を通じた持続的成長を目指している。AWSの成長性に加え、クラウドサービスに関しホスティングから人工知能(AI)・機械学習、IoT等先端技術に至るまで幅広く携われることも魅力の一つだろう。

### 業績と見通し

2024/3通期実績は、売上高が前期比30.1%増の5.63億円、営業利益が前期▲39百万円から2百万円へ黒字転換。22年12月に連結子会社化したヘプタゴン社によるクラウドインテグレーションサービス、ディベロップメントサービスの通期寄与が業績に貢献した。

2025/3通期会社計画は、売上高が前期比17.3%増の6.61億円、営業利益が同171.2%増の5百万円。23年10月に開始した「FinanScope」の拡大が期待されるほか、地方のクラウド活用推進を加速する企業間コミュニティ「re:light local」による地方企業支援強化も見込まれよう。

### 業績推移

事業年度	2023/3	2024/3	2025/3F
売上高(百万円)	433	563	661
経常利益(百万円)	-40	9	5
当期利益(百万円)	-34	3	9
EPS(円)	-94.24	8.10	20.35
PER(倍)	-	98.77	39.31
BPS(円)	58.81	66.67	-
PBR(倍)	13.60	12.00	-
配当(円)	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	-

(※)2022/4/1付で普通株式1株を1000株とする株式分割を実施している。

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)  
株価(円) 800 2024/10/18(終値)

### 会社概要

2006年11月に兵庫県三木市で設立。「デザイン、アート、テクノロジーの交点に立ち、価値を創造する」というビジョンのもと、クラウドサービス事業を展開。設立後、WordPressを核とした自社製品開発と受託開発を行い、先進的なホスティングサービスを提供してきた。

主にAWS(アマゾン・ウェブ・サービス)を活用。同社の主力商品でフル・マネージド・ホスティングサービスの「Amimoto」は、「AMI(アマゾン・マシーン・イメージ)の基(もと)」に由来する。

2024年10月18日にTOKYO PRO Marketに新規上場した。

同社サービスは、以下の4サービスに分類される。

①「ホスティングサービス」は、「Amimoto」のほか、WordPressを静的に活用してセキュリティの不安を取り除く「Shifter」を含む。②「Webサイトの制作・保守サービス」は、主力製品としてWordPressに特化したWebサイトの制作・インフラ保守・改善のための調査および改善対応を行う「LabWorks」を擁する。③「クラウドインテグレーションサービス」は、クラウドサービスのインフラ面での設計・構築・運用を行う。④「ディベロップメントサービス」は、クラウドを用いた人工知能(AI)、機械学習システムの設計・構築・開発やIoTシステムの開発、生成AI社内文書検索システム構築支援などを行う。

上記の③と④は、2022年12月に株式交換により連結子会社化したヘプタゴン社(青森県三沢市)が営む。

自社による実績をベースとしつつ、多くの地方企業が経営課題と考える事業成長や事業承継を支援し、テクノロジーを活用して事業成長を支援するプラットフォームのサービス「FinanScope(ファイナンスコープ)」を2023年10月に開始した。

### 企業データ

主要株主(2024/9/13) (%)  
1.リジェネラティブ株式会社 41.77  
2.小賀 浩通 31.82  
3.立花 拓也 19.91  
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として本レポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)」に基づく表示>

1. フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。